

渋川市小中学校PTA連絡協議会



新生市P連～親・子・先生、一つになって各地区に「心の橋」をかけよう。



第14号

令和3年2月発行

◇発行◇

渋川市小中学校PTA連絡協議会

ホームページアドレス

http://shibukawa-pta.jimdo.com/



会長挨拶

渋川市小中学校PTA連絡協議会 会長 室橋 俊之



今年は一斉休校から始まり「新しい生活様式」という言葉のもと、私たちの日常生活、子供たちの学校生活どれも大きく変貌を遂げることとなりました。コロナ禍の今、改めて確認ができたこと、PTA

初の書面開催

定期総会

渋川市小中学校PTA連絡協議会定期総会は、本年度、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面開催となりました。

総会の構成員114名に議案書を送付し、審議結果を返信していただきました。その結果、84名から返信があり、会則第13条第4項により過半数の出席があったとみなし、総会は成立しました。また、議事では、令和元年度の事業報告、収支決算報告及び監査報告や令和2年度の役員等、活動目標、事業計画及び会計予算に関する第1号から第6号の議案

活動はいま参加できる人たちが、いまできる範囲の事を精一杯楽しんで取り組むことであると再認識しました。

そこで、いまできる事として定期総会の書面開催をはじめに、七月からは各委員会の委員長を中心に、各行事を中止ではなく感染症対策を十分に考慮した開催の検討を開始しました。各単位PTAの会長からの前向きな意見のもと過去の踏襲、新たな取組と来年、再来年のPTA活動の土台となる開催ができたこと大変嬉しく思います。ご参加くださいます皆さま本場にありがと

笑顔で各競技に挑む

交流イベント



タイムアタック最速プレイヤー

数十年ぶりにゲームのコントローラーを手に取り挑んだ交流イベント。新型コロナウイルス対策として、例年開催されて

うございます。

子供たちの笑顔のために、そして子供たちが自ら人生を切り拓く力を育てる環境を整えてあげることが私たちの使命であると思います。PTA活動での出会いを大事にこれからも一緒に頑張りましょう。



会長からの挑戦状(抜粋) この写真と同じ場所、同じ構図で写真を撮影せよ。

いた「ソフトバレーボール大会」が中止となり、代替開催事業が立ち上がった(10月3日、24日実施)。SNSを活用し各校PTA役員が、クイズを如何に早く回答できるかを争うタイム戦を事前に2回おこない、中間ランキングを発表し、白熱したバトルを繰り広げて迎えたイベント当日。総合公園体育館に密を避けるため分散して会場入りし、フリースロー戦・マリオカート戦・アスレチック戦(会長からの挑戦状)と3種目での獲得ポイントと予選での獲得ポイントを合わせ、総ポイントにより最終的なランキングを決した。参加した各校の皆様は

PTA活動にも「まなび」

しぶかわ市民まなびの日

10月26日から11月5日までの間、市役所第二庁舎一階もみじサロンで様々な団体が日々の活動や体験学習の様子についてパネル展示による発表を行っていました。

会場内にとり狭しと並べられた、各団体の特徴を生かした展示品や写真を見て改めて「生涯学習」の大切さを知る機会となりました。展示されている写真を見てみると「まな

び」を通して皆が笑顔になっていくことがとても印象に残りました。

また会場内で行われていた「しぶかわクイズ」も多数の来場者のチャレンジしている様子が見受けられました。

私たちが行っている日々のPTA活動やPTA活動を通じた新たな出会いの中に多くの「まなび」があると思います。こ

は感染拡大を避けるため、仕様を変えての開催となりましたが、きっと来るであろう、日常が訪れた際は、選手として観戦者が大きな歓声で一丸となり盛大に開催できるでしょう。

明けない夜はない。きっと眩しい朝日が昇ります。その日まで、できる限りの交流を今後も深め、各校が連携できる体制を構築してまいります。

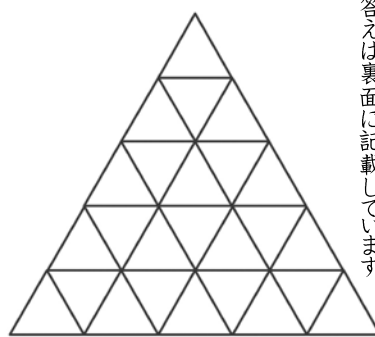
例年開催していた「ソフトバレーボール大会」を、多くの皆様が心待ちにし、楽しみにしていたことと存じます。本年度

交流イベント予選・大会 総合順位

- 第1位 金島中学校 PTA
第2位 金島小学校 PTA
第3位 渋川北中学校 PTA
第4位 中郷小学校 PTA
第5位 渋川北小学校 PTA
第6位 渋川南小学校 PTA
第7位 豊秋小学校 PTA
第8位 渋川中学校 PTA
第9位 三原田小学校 PTA
第10位 赤城北中学校 PTA
第11位 渋川西小学校 PTA
第12位 北橋中学校 PTA



会長からの挑戦状に挑む参加者



※答えは裏面に記載しています

れからもこの貴重な体験を通して多くを学び人生を豊かにしていきたいと思います。
ここで市P連交流イベントの予選会でチャレンジした問題から一問だけ出題します。何分で正解を導けるか、ご家族でタイムを競ってみてください。

問題 左の図形の中に正三角形はいくつあるでしょうか。

感謝状と表彰状を贈呈

渋川市小中学校 PTA大会

令和2年度渋川市小中学校PTA大会が11月3日に市長・市議会議長をはじめ多数のご来賓のご臨席をいただき開催されました。PTA大会は毎年、プレヴェール渋川で開催



八高氏への表彰状贈呈



46名の代表への感謝状贈呈

感謝状(46名)

石井克明・福島浩美(渋川南小)、井口昭宏・竹田由美子(豊秋小)、山岡教彦・佐藤明美(渋川中)、南雲章・中島陽子(渋川北小)、峰岸昌史・兼田真由美(渋川西小)、東堂玄幸・中澤恵子(渋川北中)、星河和正・横手寛美(金島小)、室橋俊之・池澤睦美(金島中)、斎藤竜・田中奈緒子(古巻小)、後藤直弘・岡田節子(古巻中)、塩濱由起・高橋好美(伊香保小)、田中憲一・真下真利子(伊香保中)、齋藤祐一・佐藤博美(小野上小)、千明竜也・安原由香(中郷小)、岩崎博和・山本優紀(長尾小)、小菅貴昭・飯塚由美子(子持中)、阿久澤淳・津久井瞳(三原田小)、永井照行・荒井友紀子(赤城南中)、狩野隆男・長谷川直美(津久田小)、狩野朋子・狩野由美子(赤城北中)、今井里奈・狩野直美(橋小)、梅澤厚志・大島幸子(橋北小)、山崎貴行・町田彰子(北橋中)

型コロナウイルス感染防止で密を避ける為、渋川市民会館大ホールで行いました。室橋会長からは表彰状が元会長の八高氏に、中沢教育長からは感謝状が本市のPTA活動にご尽力された46名にそれぞれ贈呈されました。

コラム そば屋が伝える「そば」の魅力

「そば好きは長生きだ」と昔からよく言われています。昔の人は、よくそう話していたようですが近年分析方法の発達あるいは多くの学者の研究によりそば粉から健康に良い様々な物質が発見されています。

山間に蕎麦を蒔くと、一週間位で、胚芽の所から新芽が出てきます。それだけ胚芽の部分は栄養のかたまりで生命力の源なのです。

米や小麦等は、胚芽の部分が粒の端に存在するので、精米、製粉の工程でポロリとはがれてしまいます。蕎麦の場合は、中央にS字型に大きく分布しているの、取れにくく製粉の工程で自然に粉に混入されます。

そば粉七割、割粉三割でそばを作り、150gのそばを食すと約3,000個弱の胚芽を食したことになると言われています。

米・小麦と比較してみると、そば粉は、たんぱく質・食物繊維・カリウム・鉄分・ビタミンB群などが、とても多く、そば粉のたんぱく質はコレステロール上昇抑制作用があると言われています。そば粉に含まれる代表的な機能性物質はルチンです。ルチンは、ビタミンCの機能を助け、毛細血管を強化します。そばの特有的ポリフェノール成分は、強い抗酸化作用をもっています。

ちなみに、年越しそばとは、大晦日に縁起をかついでそばを食べる習慣の事で(江戸時代から始まったとされていますが、その由来や起源には諸説あります)、そばは長く伸ばして細く切って作る食べ物なので、細く長くということから「健康長寿」「家運長命」など縁起をかついで食べられるようになった説が一般的です。

健康の為に是非おそばをおいしくお召し上がりください。

※注 そばはアレルギー反応のある食べ物の一つですので注意して食してください。

北橋中学校PTA会長 山崎 恵司

でも感染防止の為、中止とさせていただきます。

いつかじゃなくて、今やろうよ 講演会

市PTA大会に引き続き、講演会が同日同会場で開催されました。

演題は「いつかじゃなくて、今やろうよ」不機嫌な毎日からの脱却」。

講師はフリーアナウンサーでFMぐんまでもお馴染みの須藤ゆみ氏をお招きしました。

前半は、自身も子育てをしながら仕事と家庭の両立をさせていくために、女性目線から、今やろうよというテーマの元、具体的な例を4題挙げながら解決策を事例ごとにご探っていただく方法を学びました。



新型コロナウイルスの影響もあり心配されましたが、大ホールでソーシャルディスタンスをしつかりと取り一人ひとりが感染症対策を行い、有意義な講演会となりました。

コロナ禍だからこそ生まれたものを生かして 教育懇談会

11月12日、渋川市民会館にて「これからの教育環境」をテーマに教育懇談会が開催されました。新型コロナウイルス感染症に係る学校の対応についてのアンケート結果をふまえて、コロナ禍での教育環境、家庭と学校との連携について活発な意見交換が行われました。また、渋川市におけるGIGAスクール構想に対応した教育ICT環境整備について説明があり、今後の子供たちの学習環境に大きな変化があることを予感するもの

推進共同宣言

共生社会実現のまち

11月25日、「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言の署名式が行われました。多発する未曾有の災害や、未知の感染症への対策など、多様化する多くの社会問題に直面する今こそ、すべての人が社会

してほしいとの要望が出されました。

新型コロナウイルス感染症は学校教育に多大な影響を及ぼしています。しかし、コロナ禍であったからこそ生まれた、今後にかける動きもあると思えます。様々な立場から意見を出し合い、子供たちのためにできることをこれからも考えていきたいと改めて感じました。



一員として共生社会を築きあげる役割を担い、自分らしく、たがいに寄り添い、共に生きる社会を創るため、「共生社会実現のまち 渋川市」の推進に協働して取り組むことを高木勉 渋川市長と共同で宣言しました。

編集後記

令和2年度の広報紙「かけはし」を最後までご覧いただき、ありがとうございます。この一年は新型コロナウイルスによる影響で密を避けソーシャルディスタンスを保つために事業内容を変更して開催したり、講演会、教育懇談会なども広めの会場で開催したりしました。

困難なこの時期にいろいろな事業が開催でき、「かけはし」が発行できた事うれしく思います。最後に広報紙発行にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

広報委員

- 山本 克彦(赤城南中)
- 山田 幸子(伊香保小)
- 品田 義(渋川南小)
- 高橋 政宏(渋川西小)
- 山崎 朋英(古巻中)
- 諸田 政光(中郷小)
- 山崎 恵司(北橋中)